

『オリーブも含めて』

アンドレア・ヴィターリ 著
久保 耕司 訳

イタリア北部コモ湖畔の風光明媚な田舎町ベッラーノで、老婆の死体が発見された。その死に特に不審な点はないが、この出来事がベッラーノの人々の生活に少しずつ影響を及ぼしていく。

次から次へと新たな展開が巻き起こり、数多くの出来事が絡み合って、大きなうねりを形作っていく、どこか不思議で、なぜか妙に可笑しいストーリー。

著者は、コモ湖畔のベッラーノ生まれ（本書の舞台）で、ミラノ国立大学医学部を卒業後、故郷で医者の仕事をしながら作家デビュー。

1996 年度にピエロ・キアラ文学賞、2006 年度にバンカレッツァ賞、2008 年度にはイタリア・ヘミングウェイ賞を受賞しています。



2011.8 発行 ISBN 978-4-903439129 (1,890 円 税込) 四六判・528 頁
ISBN 978-4-903439136 (1,200 円 税込) 電子書籍

『ブティックの女』

アンドレア・ヴィターリ 著
久保 耕司 訳

【電子書籍+オンデマンド書籍】

「オンデマンド書籍」は、「三省堂書店各店」と「三省堂書店 楽天市場店」でお買い求めいただけます。

2011.10 発行
ISBN 978-4-903439143 (1,000 円 税込) 電子書籍
ISBN 978-4-903439150 (1,890 円 税込) オンデマンド版 四六判・460 頁

映画「ひまわり」のソフィア・ローレンと同じ境遇の女に訪れる、奇妙なおかしさとペースに満ちたストーリーは、あらぬ方向へと次々に展開!!

「オリーブも含めて」の著者が放つ、抱腹絶倒の群像劇。
一生懸命に生きるがゆえに起きってしまうエピソードのオンパレード!!



あらぬ方向へと次々に展開!!

『見えないものたちの踊り』

～ 九十二の短い長編小説 ～

シルヴァーノ・アゴスティ 著
大阪ドーナツクラブ 訳
野村 雅夫 監修

【電子書籍+オンデマンド書籍】

2011.11 発行
ISBN 978-4-903439174 (850 円 税込) 電子書籍
ISBN 978-4-903439181 (1,890 円 税込) オンデマンド版 四六判・362 頁



今を生きる人びとの92のストーリー

ローマの、ごくごく普通の市井のひとたち。その一癖も二癖もあるバラエティーに富んだたくさんの登場人物を、磨き抜かれた言葉で削ぎ落として描かれたショート・ショートのような92のストーリー。

2007 年月に発売され本作は、ノーベル賞作家の名を冠した文学賞デレッダ賞を翌年に受賞した小説集です。

『静かなカオス』

サンドロ・ヴェロネージ 著
大谷 敏子 訳

前作『過去の力』も、好評発売中!!

2011.5 発行
ISBN978-4-903439112 (1,890 円 税込) 四六判・528 頁

大切な人の突然の死をどうやって受け止めればいいのか・・・

生きていることがあたりまえの日常の中で、突然、大切な人が死んでしまった時、残された男は、どう悲しんだらいいのかわからなかった・・・

本作は、イタリアで2005年に発表され、2006年度のストレーガ賞（実績のある小説家に贈られる、イタリア文学界最高の賞）を受賞しており、2008年には映画化もされている作品です。

